

県下最古の寺院跡

秦麿寺



指定区分	県指定史跡
読みかた	はだはいじ
所在地	総社市秦
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	飛鳥時代に創建された寺院。塔の心礎には1辺125cmの方形の柱座が刻み出されている。心礎はやや動かされているが、塔基壇の上に位置する。また、付近には円形の柱座が造り出された礎石も所在する。創建時のもの以外に、白鳳期の瓦も出土しており、他に押出仏破片も採取されている。本格的な伽藍をもつものとしては吉備最古の寺院である。
アクセス方法	JR豪溪駅から約2.7km
公開状況	自由
設備	駐車場 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	秦廃寺
よみかた	はだはいじ
しょざいち (所在地)	総社市秦
していつひ (指定した日)	昭和34年3月27日
せつめい	岡山県(おかやまけん)でもっとも古(ふる)いお寺(てら)の跡(あと)で、飛鳥時代(あすかじだい)に建てられたものです。塔(とう)の心柱(しんばしら)を置いていた石がそのままの位置(いち)で残(のこ)っています。